|| につき水の洗濯とボ響した| || 鑑、日本漁船のアラスカ軍灌漑出 氏もが主急何等かの對策を勝じな || 漁業資産は二十一日シヤトルで開 | ワシントン州上記辞述ペヤーソン

政府間に漁業制設協定を締結する

春の漁撈期に際し日本鮭工船が後左の如く述べた。

てゐる。なほ當局では二十一日午

傍郷風は『縁凰の危機』も既に漫 れてるるのは特に独目を認いた、 イタリー代表脳は空臓のまり残さ 以下二名の代表出席したに戻し、

性となつたか極めて閑散、新聞記

アラスカ近海を封鎖するか

上船の遊出についてカナダ欧路も 「オッタワニナー日同盟」日本館

たため沿岸漁民は重大なる生活領海外に來で盛んに鮭を漁獲し

あげカナダ戦艦の活躍方を監記す ユ・コロンビア州神三蛮の領荷

が漁業の進出

整理改革の方針

するど共に現代の國費を漫然後代國民の、租税收入を計り以て財政の基礎を確立行ひなほ租税負擔の均衡を計ること、中央地方を通ずる 税制の根本的改革を、

三、関軍收入初年度約二億圓平年度約三億圓平年度約三億圓平年度二億九千萬圓の滅稅となること二、右により地方歲入の缺陷は全額地方稅調整交付金を以て補塡すること、直圓平年度二億九千萬圓の滅稅となること、由圓平年度二億九千萬圓の滅稅となること、中央地方を通ずる稅制の根本的改革を行、中央地方を通ずる稅制の根本的改革を行

務省發表 (略)

租界に接踵せる支那人影管順

のあり、急報に接った陸戦隊は贏を投げつけ無戦的應度をとれるも

除めかけて果物の皮での他の汚物」ちに當直消核を現場に派し該巡罪

收入増減の大要

つ、無触紀(ロ)素素短(ハ特別物居(ユンキ皮害など、上記話税は軽減することと、自動剤(ロ)市町村所提起所紹(ユ)素量程と記話税は軽減すること

藏省發表

【東京上話】 廣田内閣の重要政策中中央地方を通ずる税制改革の大要は二十二日の閣

時半國稅の全部及び地方稅の大綱に關しては大藏省より、

【ロンドン甘二日同盟】 イギリス

地中海ロカ

整理改革の要綱

廣田内閣の重要政策税制整理の要綱

國費は三億圓の增産

イノニ氏はイギャス皇帝の訪問に

正式武装をなし二十一日午後九時

無 離れば然も滑り落ちるかと思ばれて けて満るばかりに脈に縮かつた。

世

ては運り上げ

るまでに美しいその肌に、食び人

っ如く破職を表げてゐた日道は、 もう一度感く思言に命じた。 『そこだ。 そのこの 腕へ 連う。 けら』

際顕著堂に部艦、午前中は創設間日午前北時から長谷川町京城薗科 んでしまつた。それは主人の破お



死んでをるのではない。森山

山 腕の腕に避ふだけを待つてゐた。 脚 庄吉が顔へる手に持つた策を、お が

胃腸下垂症・二日 醉胃歳瘍・腸潰瘍・胃臓過多症・胃臓場の多症・胃臓場の多症・胃臓の

異風を聞ひ除けて、行機をお

何ならことになり行くかとの恐怖。注音はもはやこの上拒めば、如

からであらう。左の手でお髭の手

首が抑へたま」、濃い墨の含まれ

た。たらに真

資然不進·食傷。 船麻 で・溜飲・飲過ぎ・食過 で・溜飲・飲過ぎ・食過

腕へ策を走

を扱いたこと

漢口、昨夜より

福;

中山趗直發見

領事の正式抗議促出に先立ち海軍

野政務語監が林氏の自能的評価

叱るやうに命じた。



13出版中の書館に象理研究を命じ、二十二日年明十時年から小磯(軍司)令官、佐(校 琴謀)長、内田高級 参謀、千葉、象を告げる近から朝鮮(軍に對しても中央部から重要指令が後せられたものの如く、軍司会部では各方面相次で振日テロ専博により自文職等に挙げ継悪化したが方は賦予員頻煕の趣動を決彰し、線彫屋観覧を編制し2度より急遽、真会意と

ける緊急参謀會議開

1)

井原各参謀列席の下に参謀會議を開催、毎の大方鉄を離立したものの如く、

(イ) (朝野社長) 東上

天地支黄

かからにかしてくれなければ、 ロシアの健康に、どうにか続

「腕を……」

なつてからゴルフに凝り出し近

訪問したが守衛にうさん臭さう

を監視してるため 施見地に立って 語

『馬鹿め、何んといふ物門りの思

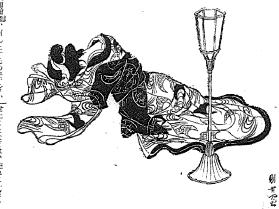
いふのではない。まで安心してそ 『おゝ、能かと思へばおかわさん

珠で、軽くおか

十段・卅段・五十段・大木日名音和・「外用第付数(図述ガリツニル氏度方)

の申合ぜにより夕刊のみ休刊

一十三日は祭日に付、



へるまゝに何んとすることも出版 せたことなどは、生れて一度も 見そこでいる。 そのふりくらと順 頭へる手は飽まで昇 各

昭和十一年九月十七日

一、汽車賃割引 個人往復六十歲二十人以上三割



た 「うむ、よい。 見事な出来だ。 こここれでようございませらか」 さつと聞いて、脆込んで果たのは こざいます。どうかお機様をお包 みな文字が黒々と集め出された。 「もしお上人様、何をなざるので さらいつて日道が滅足さらにこ はおのづからだ った。実然関が びがけない 其他食器洗ひにも良し 市協議の展プン 社会は休養製業エー第

後援 安 養 驛

宜

らんであるとこへ書くのだ。

養 果 樹

安 長 園

東京市中、五百分一門 東京市中、五百分一門 東京市中、五百分一門 東京市中、五百分一門 東京市中、五百分一門 東京市中、五百分一門 東京市中、五百分一門

築

散藥)

XXIIII START

所 安産師ホーム町 安査果園園 - 約八千坪

- - - -方期場

自九月十九日 至十月末日頃迄

一、入場料 (五十人以上/函暦=原リ)水八十 五 銀一、方 法 値値的内ニテジシク遊ビ補弱喰(次第

日島楽

r L

防護の準備を完了、廿二日午前十

南山の取出壁に隠蔽され

学は態 定と教令を 跳く守り京城二十二日京 城府防護艦の訓 緞 飯

一般間では飛三院機会は前を明さ

の大蝦艇來の電源銀あり続に京城市街地は蘇端されんとする陸鹼の假あるとの概況の下に……朝鮮半勝一份は北方國の概俗と城に腰局緊迫し宝存協悲を告げてゐたが二十二日星朝遠に艦ლ

れぞれ那麼を聞めて魅惑網を布い 時野形類報と共に防御制質は、そ

い、 護藤は新蛇を膝の高射機麻蛇の猛 則で てあた面排側師、及び全市の各断 | | |

午後一時

と死守さる

けふ防護演習決行さる

名手配と共に行方型金中である

腕につけた八型クローム腕時間時

重傷を負はせた上、左

に野君を押倒し約州分にわたつて 追『ない』と答へるや兩人は矢庭

役に立ちようがり、金を出せ」と将

を通行中、突如二人連れの男が削

元二東大門家治市場裏通の暗開 新民配達大労働約君(こ)が同町 日夜十時半頃京城昌信町一四三人

緊張せしめ 盟統が現れ所内各署の整備陣を 日夜十時半を期して奇しくも 「城と南部(水登浦) 兩方面

た、二十二

怪漢を發見 探酬の上前 切の犯行を自己した。同器では直一に附せられた

「院告時訛を持つてをり遂に一

音と、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、 荒木氏方の服人李建琪(≒)が猫を

梭長夫妻を脅す

京城府外新東面に强盗現る

如何に掘らず膝行される部であるは無難と腕迹の各般に重り天候は無難と腕迹の各般に重り天候

鐵勝

一選歩な連絡を保つて徹底的質品 前するため防避脱本部では勝段

餓怠してゐる、 當日の 適型調目

り約三丁光で暗獣に絨れ野走せん。三弥伽李龍煥(こと)で強鞭したクロ同語史解釈出所砂部巡査が規当と、くた、京城新常町一六二西泉詞五

東大門外で……强盗ばやり

頭部、頭面、左足を配打し

至襲下の大京城

公開郷製造教訓して盛況を極めた時から龍山製権内に於いて一般に一般のた例が展別点は廿二日午前八

同後閉解に向ふはず

北野地方を巡回防空思想の聖及に

通行人に暴行强奪

名物中思学

先の苦杯に

で摂食にあたつた結果、隣家の

組辻運汽

みると突然背後から至直続の罪が 母館域内を設置事館以があるいて とんで來て背中にあたつた、本町

日午後五時京城明治町支那領

支那領事館員 大きな迷惑

在京各關於陸海軍在京將投等陸間

姉の木の香新しい戒名が、花に埋は息気を飾り一飛院段数操日員大

である
・世一般知己の重化が行はれるはず、他を起して倒れた。同窓では直にで一般知己の重化が行はれるはず、他を起して倒れた。同窓では直に通化が行はれる。サー日は正観の一般に突られるのは蝶だ、それならばたといてゐる。サー日は正観の一般に突られるのは蝶だ、それなら

た遺骸を削に気がに

功を物語り、立ちのほる否煌も一れて今は寂しくありし日の内助の

**断田組埋を始め** 

とつめかけて夫人生前の郷を躓へ

防空展列車

大將天人を修む形彫名は夜に至る(東京支軽に)総然と逝いた宇垣

結果、住所不定確果(こ)が数日間は刑事院を督配拠人型査に売めた被害相當あるので網路署司法権で

面・腹部に傷金道二ヶ月の電傷相類(三)は即死、根基場(三)は敵 京城荒し 敗部に傷金治二ヶ月の遺倒

一語の大振設計費に引擎き船車連 | 道内での掘下げ工事中整岩機の整 | て戦金|

◎ 〒 | 「全球され、ケ年前載で木| 劉とともに娯徳坑道附近に居た野禽よ十二年度から五ケ年前載で木| 劉とともに娯徳坑道附近に居た野枝を謎の撮が間乗を纏めてゐたが | 尻りがダイナマイトにふれて大普

更に各港改造

は配上した異合と現状維症の場合との二つをおか大きいので非常に健康な健康をある合とのでは内 地の煙草 値上げに迎 能、環算が大きいので非常に健康な健康をとつてある

先づ木浦港の擴張

一幅に決定すれば全職類を通じて二個の때上げ作成した。而して値上げが明年度度算で最後

値上げされるわけである。 でもになつてビジョンはを見るとになつた。これによつてビジョンは

に計上されたが製費局では大彩生活への騒響側壁における煙草の塵上げは明十二年度保算

明年豫算に組込む

内地に追従して朝鮮も實施 割値上げ

投下、中島の首都は短硝と火災の 解析の渦に捲きこまれんとする低一多大の振動を加へて解認した。

-- 習の機様を辞にフイルムに吸

す。日韓現香に東大な薔薇を持つ | ックリが上し線の野鶏がまさに出 | ろ心驪魔弾と触りそのする野鶏を| | 数成俶鉛の意味に於いてのみたら | 女父金葵真 (\*ごるんが十八日朝本 | ろ心驪魔弾と触りそのする野鶏を 出一回館前場合質型面開催の誓は

田立されたこの大質は、内鮮菌に

即からみて、朝鮮崩洲は河一つを

當選府議某氏派に

違反の疑ひ起る

世名の運動員を取調

威が一覧に撃まつてその高見卓融の表を使病が大いのに個み新発の個 の館には膨胀から削散六十名、 氣候風土の、躁郁で患だ

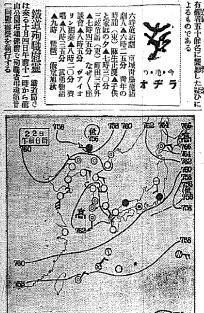
郊館人館師四十名を傍聴させるこ 口地からの来観十餘名の外に在湖 京城府館議員の選擇につき本町署

つき選反の疑びを生じたので逃動

急死に謎但し解ける

既衆一京城側水町九四の二金英品 一抵諸ス熈が取調べてるる、事物は一般计名を喚び出して香帳高等主任

一四年 へ逃走 ころ、平郷山手町三 緑窓土三部 刻平郷路に通話し郷金手盆を加へ 正の館スリキ部外遊が棚行しその 成太田方に今年五月紙贈藤より米 たが聞ふなく総飾した、自教の殿 唐側の京脱に咽喉をナイフで腰切 | 線に手脱を出したが叱られたのをが見えないので心配して探したら、に宛てよ冬の若観を送つでくれるのよ能感の石田からまさん(こ) 励け誰しくわからないが懸立父觀 ころ、平坂山平町三二線要子三線 刻年版巻に通密し郷金手営を加へ 日頃から父親とうまくゆかなか【『典書語】二十二日年前六時半 って伽にそまつて倒れてゐた、即『歌観したものらしい三派氏は謎る 父に背いて…のどを突き自殺



張 [明日] 同じ 京城地方 [今昭] 明れ

|部骨階離と共に機能を行つたとこ。大空に向つて飛躍せんとする少年||航空兵の志願器は半島に高まりつ| けふから採用試験はじまる

年航空兵採用試験が行はれた、 龍山衛戍病院で朝鮮で初めての 日館格役在を終了廿二日県科試験

の志願者は操縦せ九名、技術四十 と執行のはずであるが甘師制管下 平 平 北 増 右 同 咸阳北 同右 湖江原 右同 <u>電北</u>同石 <u>東</u>北 右同 右詞 有問 间右 右同

仁川の潮時 同右

頭腦豐養

の必携築!

新七十三名に達し同様に平城

廿二日朝の槪況

李郎一郎一日十 【カルピス】滋湿飲料 カルピスノー称へ 数イトキデス 能ノグラッキ ダイタミン 聯記二合三 聖学りが 我酸カルシウム 雅出部 福斯等

野一家、夕野 ながいほグマス 称人能能ラな記 冰不,安 不定 君 於 泰 Ц Z

杯

安

默禱續ける字垣大將

しめやかに香煙こめる邸内

観光器へ概撃された則科二般スリ 個人歌信永(Fa)は十八日夜來、

白、外組を疑して専貿局勝つ 黄、 後野4――2腰原、趙

イブセン鉛筆>

死の方がましたと解説を手古ずら してゐる不都合な男、去る十六日 が罪の重きを悟らず蹴踏よりは かける馬鹿 お上に手敷を

引聞き取調べを行つてゐる 白, 朴 4———2崔, 李李, 梁 0——4藤原, 趙 秋季實業庭球 第一ラウンド 殖級 ちに共犯者を追及の結果包信町三|

11日午前一時半晩葉記つた所を 日午前六時二十五分着別車で氷した判明、刑事談は同人宅に認込み、日前計算事業人資よりの競泳せと判明、刑事談は同人宅に認込み、日前計算事業人資よりの競泳せ 猫を追つて

で開かれた社會事業巡談音に臨み間を尋察後、午後一時から公司量離社に参拝、慶北敦消音と扶証歴

混濁が因

い論液の沿る

、 卒倒 素晴しい 血液浄化劑 素晴しい 血液浄化劑

競店にあり

神經痛は

人を撃つ

十キロ前方を材料像途中であつ、六時十分頃頃浦線位古際より約海浦線位古際より約海浦線 豫行演習 南鮮防空 痛み輝れ幾ひ、喘息狭心症、便秘不民屑こり頭痛耳鳴り、目まひ動悸ふら丿 で踏れたり又は半身不隨、舌もつれ年の中風となる。 高血壓シビレ動脈變化から突然腦溢血や痛み輝れ震ひ、喘息狭心症、便秘不眠

高血壓耳鳴りから突然腦溢血で倒れた の浄化で治つた

C

0

では、 と 19月1年に 1920年に 1920年に 1920年に 1920年に 1920年 1920年

九 霞

鳩居堂薫香類 文房具、骨粒







乗れば乗る程わかる 輕さと耐久力! 完全なる防水裝置の 之は山口の自轉車が

完備を誇るからです

全位天氣豫報

上空に燃音を立て、突如空襲を収 遂に敵機は 東城市館の 配けさまに大型品様の建築物

京城を守り 像、艦艦に 本府映畵班 ではこの戦闘の清晰で記載って 大阪時上に一条戦れぬ戦を戦位とする時態地の活識を筆かいの清価で離れ、 水の清価が響か

横州 事 種入る 一環機として トップされ、永井前法主伝が終級として トップされ、永井前法主伝が終級といる一枚の投獄、螺旋はスコれる りょといふ 一枚の投獄、螺旋はスコ 自命 超過過 おど した十九日午後回時銀路

合か Ø) ざす少年

記(の風場 望ったり

學

マルワイ号プ レス 号

マルワイ経済事 星 進 代 無

郷満野学の握手 内地からも十餘名の來賓

府民館で

时、光心门十字路、翩路十字路五壁便局时、第二高女、西大門塔 あす城大講堂に會し

在満朝鮮人醫師も招待さる

は二十三日▲龍山小學校は二十十四回秋季大運動資▲元町小學廿六日午前九時から寵靫々庭で

部 菱 版 場 工 車 轉 自 口 山,原为体小。然为日。京里

對新京ラグビー



86 | 14

東行派曹が好成職ではなかつたの 東行派曹が好成職ではなかったの と共に除門には献大衆職した派曹の と共に除門には献大衆職した派曹 廿八日の豫行旗臂に當り完璧



地質品等門の和光紫

| 行电値臥してめた女を機関した | 「ヒ緊めた結果総年後値か三十分で防島自己」的川第十四原梁上を施」はを動致し非常線を襲り級人埋在五十分頃質泉後縮進行は行が上三。弦を動致し非常線を襲り級人埋在「線路」に女 | 中一日午後日時 | 翌では伊藤司法主代が出動、発客| 器では伊藤部法主佐が出動、全路と野五田島を超続進足した、東大門 

目の[

| 日氏から宮は米窓屋を新作业合理 | 日本日本 | 日本 | 日本日本 | 日本 | 日本日本 | 日本 |

【清州】郡四米院面米院里飲食店 惣紋を締結したもので真の買主

赤の夜學教師

近く大明聖友館に依頼して悲獣谷

咸南の漁船

一変であった

も現れ作物等の被認も大きいので一助申請を受理するに至つたので道

産業は局では本所に對して補助金

増配を申請し、せめて欧良形帆船

数位は建造させたい部向である

物明し、上衣のボケットから遺跡

鰤術は際主任李春禄氏(こ)と

性格で事務上間違ひを起すやうな

人物でもなく、遺居によつても家

**報明し、全州府総から駿政急行 た事情もない模様で死因は不明で** 

「個の自殺であること 原的に死なわばならぬやらな特別」

たところ附近に洋般を脱ぎ捨てゝ

身もと判明

口墳の再生危

煉獄生活 釜山の强盗

の水理に附したものとも見られ 位の男兒死體を人夫が起見、大田文雅に包んで埋倒した生後七ヶ月 解説に附し活動中

勝断に附し添納中 ──続近の少女が夏弥铉倒してゐるの | 列戦に耐れたものとみられてゐる| 「建設的記憶に揪養系質者同死還を | 里、大選問家追溯路極側に八、九 | ○で同日雀の崔淵ひに行き三玉二| 【大田】二十日午後四時半頃香裡 | 郡北一面金紅里賀京使四女脳変で 少女の轢死

内秀普通影技では低年、運動監督

木竹有の大風水脈で多数の

【光州】十九日午後三時二十分日

の一の十五国はに城部し残り三十 争秋運動官の容品代は例年の三分 他災害が記述な境地に協つてみる に盛み去る十六日の野地館能で

りして威す

申告もさせぬクソ落着ぶり

鴨江中の島の强盗

品代に四十五個を割當てくゐたが

批することに決定した

グリルのコック長品木天一氏製起 囲を水路戦崩金としてその脳に寄 コックや女給【清州】一地脈部面西城里を保定中突如則方 さんも奮發す 本ビル・ 全南湖連湖城田面が前米(つ)が全南川の三朝自湖地に飛谷七名を帰 下の畑地に落ち込み山麓を大阪し て急カーブを切り譲つて約三尺餘 に関れた朝鮮人老婆を遊けんとし

**商州西解、ホペト、六石、 | たが回郷手乗客共に無事であつた** 

| 転在所に鑑けつけようとしたが臨り販賣代金を誤離化してゐたらしい| | きとり出て行つたので保は直もに | 取調ベ中、專収は昭和六年から臨 | 工1、廣州師館、ホペト、六石、花舟近の財産家の名削を手帳に暫 | し間観台部事金繋は日下宮州(数で) | フェッチョルフ・日カフ・日から 府尹を訴ふ

| 義州|| 十九日午後九時半ごろ | でに二百圃 お感しくをけ!| といつ | 隠腹 敬代金をめぐる不正事 質能器

九日、朝鮮政府事業協顧忠北支部

て十九日朝鮮北宮事業帰国忠北支

展使 (全地グロタカ) 町寺大明の原列原列慶 (前等)では日新) 所作製機綿陽。 (番二九五二一屋古名四日書

占 加









乘合自動車

畑中に顧落

お客は無事

## は廿一日同治院政治主任の国城寺 長部美術研究部の田中豊家教授 壁画を版色製具に生かす城大法 原色寫眞撮影の先發教授 平壌で計畫を語る

一個局に報告したが、實に見事な要

ころ廿一日に至り参山防城州町一 签山器で指数により取調べ中のと 民のため撲り殺された男の身許は

戦の中に強盗二仗を願いて部落。至山」既報、参山西面門蜆里で

年、同十五年一月東京協裁判所でよれ、一年、同十五年一月東京協裁判別と、同人は大正四段、年六月签山地方法院で最緻緻设十四段、九一任所不定醫院統則社三規模の

| 敬徳院役二年二ヶ月、昭和四年二

一致自領化一枚を認見したので歌

全州府廳衛生主任 の投身自殺

## 臨盆水利の水路で死體發見 遺書もあつたが死因は不明

の際兄を遠産後選乗したものらし「川延院修漑中河印監境中に朝鮮式」つけ機械の結果、艦艇四、五ヶ月 【大田】二十一日午前十一時大田

石塊で観打

海州郡の州盗

被害者の申告にも曖昧な歸があり 縦を歌廻りし犯人儀式と共に一方製に禁した海州署では直ちに非常

鄧

その方面も観急調査中である

楊平驪州間

岡杜純しておた楊平原州間の自然

【题州】去月十九日以來五十六 はこの程別通し環州中心の各部 金部復断したわけである 柿の出盛り

**が明岩地に『見死機が浮んである** 殺虫局では直ちに腹事隊が自動

嬰兒死體

塵埃に埋没

· 唐州 ] 十八日午後六時半旬、郊 生通行人が歴見、急報に長し 目順能を飛げして現場に駈け

**研所生活で過した犯罪男であつた** 

胎兒を水葬 迷信からか **清州で發見** 

たが軍者金を出せ』と根に黑色の一から呼びとめられ、こんどは二人

線路に大木

するや『俺は九連城から来たもの 関係江の中の島上監洞州原集方に

| 国をやると版は『十二月二十日ま」ち去つた

無済な場所

【群山】府內千代田町二丁目土木

時ころ海州郡駅山面和駅主峠を 仲介人金知弘(だ)は二十日に 列車無事通過 部落民協力で

工事の残金二千圓

く次にイデソプラ京東 作様のピンコ名山際、賀古

請負人が支拂請求

一人連れを棍棒で

殿り倒して强奪す

諸直衆上林立二丁俊名=は十九日 時ころ海州郡郷山面剛既主峠を通いの土取及海面地立工事で日 與へなほも駆打し香油の土、防御部、大阪文郷に提進した。同工事は翌 強打し金海町十日間を関する仍を一般に投進した。同工事は翌 強打し金海町十日間を関する仍を一次の場合を開発した。

一山藤明

在健にもど子母

**定断から野自然行して収調へ は空州西時代からの聴賞で西時代 | 因があつたのではないかと目下取** 8つを超見し急報により五山 性は廿一月条州に匪にれた、同氏」り、戦はこの方面に記襲すべき酸 家族に引き渡しの上帝国に附し選一につき従来も問題を起した事があ | し本人に開通ひなきこと施設され | あるが、府の衛井保は貧尿の臨分

里廊盆水利水口播附近水路に混金州】廿日午後一時第盆山郡五

# 身群は至州が以南町四〇系、河野し内外の信望も高く、温原な ・ は農村振典運動・ 最充齢的が方面に 一調べ中

| 野部関計業を相手に統党者に告訴 | 地等度常局に陳情した

閉會式舉行

用盤佈百個一面から一面二、三十

【密陽】警察署では十九日午町十

で七瞬といふ人の戦 テト風影りなもの **海道の 幕務前木さん** 

述士博學醫瀬片

和田卯助商店大阪道修町

を放ちます!な御家庭に光 の日は母子共くし軈て喜び 用はお産を輕しい錠の御服 の骨格發育に姙娠中に胎兒 最も必要なる ワダカルシュ 朗 上呈子册「にめたの産安」

受お出の中略寄年で、一時は東線「祭講版園皇式を棄ねて開館式を襲っため返講した事實があり、「授業」(祭講版園皇式を棄ねて開館式を襲ったのため返講した事質があり、「授業」(祭講版園皇式を棄ねて開館式を要

ら競物大館を塩で出品者に

防空演習準備會

に健在

から掛はニヤ

版芸林里菜島 関語の見管ひ金世珠 | 阿主の所に押しかけて毛色が選ふ 『を背目した犬を繋がある、平壁』主を違つて彫つたので悪心を起して無い。 強んた犬を装着へて倒ひ一つてぬたが、この期間犬は元の何

鐵面皮な男捕なる

のを慌にあべこべに犬泥棒だと強 談中を大同社はが採知機學

ごは仁願軍第一ゴム丁場主人の

初』で犬の毛を展點に染めて同一収調べ中

猫み出し白毛染の『ル

土地賣買の縺れ

米院耕作組合の構內擴張

ひに訴訟沙汰へ

達城郡の蹇豚業大恐慌

近く害獸狩り立て

【大部】選城がでに続来の開業と 遺補助は臍脂一窓、帆船五次の船として金原を大いに貯飾してあるが、助金源三干九百三十面と優定され続近になったが海の景宗が躊躇するに伴大郷になるには脈をさらつて行くので ひ既に機能五姿、帆船五次の船

+

龍山步兵第七十九騎隊將校派に兵一【海州】战軍郡上宮面を約里款勢

組合員が連名で發き立つ

被害は一萬二千圓

農具質演展

「咸興」米肥日報と丸元臨南共同 日めでたく開館、同日午後三時か 主催の第三回記其質減度は二十一 に大田 別級を目的に整って生命 の出題りは耐天旺盛となつて来た の出題りは耐天旺盛となつて来た

銭といる高値を示してゐる

及び府廟出入記者図を上演驛的五廿三日秋季皇盛祭四日、府曾親員廿三日秋季皇盛祭四日、府曾親員

すること」なり再び猛烈に運動を

江華代表陳情

防空面智能備委員館を開催、左記

時から同者に官民有志を招楽して

查鑑 士博學醫瀨片·獎推 **士博學醫林**相

茶糸紙、殊に赤味がゝ

ややニスが十分に塗ってない場合

つき合さ

どの色調が勝つてゐます、 家庭のメモ

写く、湯にかくればたもする死m

時期ですから、隠れ、便所には、

ら徴兵徳査の陸軍関は容

『當家の主人の話では、四十六歳

『ナニ、四十六歳?それは娘の父

親でこざらうこ

とか申した一

ペイヤ、災観ではない。 智とのだ

人非人、犬にも窓つたやつちゃ

ユウを、

ふねのあた キカンヂ

『尤だ・デハ 如何い

へするつけました

wwwマネキ竹松のwy 九月二日より九月三〇日まで 上 映 時 間 表 第一回 第三回 第三回 田中部代 せめて今宵を 11,00 2,55 7,10 主 渡せめて今宵を 11,00 2,55 7,10 









公型皇四所々 所すートル 接

🕲 8 活电话电话电话电话电话日(3)

大の不兼知である。 據ろ

のにおいて、加肉に原産されて区域である。 のでありまして、一変化の経済に着ると のがありまして、一変化の経済に着ると のが高りまして、一変化の経済に着ると のが高りまして、一変化の経済に着ると のが高りまして、一変化の経済に着ると のが高りまして、一変化の経済に着ると のが高りまして、一変化の経済に着ると のが高りまして、一変化の経済に着ると △兒童の成績で 界の惡い靑年 神經衰弱 となる 小良も 風梅士談 原 は 因 減計りナード・トーハロ・トイナエ 〈 行 へ 西 霊 幽▲ 減計・組本機・上・C・ド 者 長 萬 千のゲニ 續▲

病が

会が※×秋端と話じ端家端庭師へ端の調注護意×××、 氏談 子供さんが喜ぶ お辨當のお菜

現はすもので、なるべく繋に張りしは真の幹と副の間にその技類を

目然の基態によつては全部がこの に眞中の行、眞中の草と確する持 見越枝の挿

たる傳染病療師である

一共をつれて松小葉性を付ける事が重要して、そして時れた日曜日等は、子に手を洗い葉性を付ける事が重要して、そして時れた日曜日等は、子 砂糖タスをさぜ合せ、竹の皮の上面、味津」と 豚の挽肉を更に出み膨丁のむわ のしぎ焼、コンニヤク生姜煮 枝頭が見えるやうにするのです **茎の後に出で、體の打込の間から** 

生要は成をむきか

服するとよい、子供を持たれる れるとよいし、赤剣は内服薬を 衛生試験第で無料で注射を受け

も大切で、大人も子供も食事前や

防注射、忘れず實行

楽乱などであらばして必ます理説 (別員中) は、舞り織名古 【答】 戸病院長

ありませんか二、朝鮮内で右スで压つて貼りますよい療法

『ウム、却々の美人と申す』

『當年十八歳とか云ふて居つた』

②主治効能 術しても再發

●鼻汁が澤山 鼻をかんでもり 出

用ひてトテモ領持

湊式は」を引

猟廻い面白い 大阪吉本與行祉停縮 九月二十一日より 殿嶋陽之助 劍戟没族ショー

+

殖銀對京電 業野球 東京オリムピツクに備へる 京城の準備はよい 果洋開催は五輪大會の一 ◆途中下車が出来でえ 京
動
被
園
加 の京吳服新柄逸品陳列 行の洋服等備と生地陳列 どこよりも豊 お茶は赤点清元園 **郊界宣傳大賣** 九月末 奏効的確百パ して無料御實驗申上ま 賣出中電 於六階ギヤラリー B 五號用 一覧 張 進呈 H IJ ントの近代的治療器 みやが、ドツルテュク書ったが大喜び Ö はキグネー 適 症 P ルツクハ (仰家庭で何人でも即使用田來ます) 階藥品部 元 東 敦 ルビ東京東 社自式株業漁部日 元 追 東 ルビ丸京東 宮商洋北社會式株 A Caron 2 II 城京社會名合納嘉川仁

で第八回鞘取會募集中 御東込へ熊和 ●債 券 曽 簽 ノ 有 無ヲ無針を満くて ス ●債 券 曽 簽 ノ 有 無ヲ無針を満くて ス

雅改即商并宣 社**會式株券證信** 

ご衝突を警戒

微妙なる空氣を醸成し

●債券公社債株式の賣買金融

在非常富寶寶典大數旗

学野浩二私観

クジスト戦争論
野村

戦争嫌びの家康

と外上を

齊膝隆夫

大塚崎 海原勝三郎 大塚崎 三郎 大塚崎 三郎 一清郎 一清郎 一清郎

影前

26

# 清談の社會性

西班牙を想か

がおいる。

鰺坂貞武 高宝吳龍

作機院

ではまるが単元が日本

鎌

談

河田缆多路

--三島 康夫

顔の世界人 南方:

…山之內一郞 茂森唯士

サラリーマン金融論 (ライカ探訪)東京偽映鏡

青春面顧

里見

▽
大那財閥と國際資本

・成都事件の背後関係

・対い日思想の諸要因

・日支國交の今明日 建川・小磯・柳川ン財除謀事件と具相とは、一ト聨邦の婚姻法 セ・ラ・ヴ 文那グート地區階破記目 撃者の言 英 打建造制論等は高、猪俣津南雄 七大國策の実現性 山川 均

THE PERSON NAMED IN PARTY OF PERSON NAMED IN P 世相赤信號水原秋櫻子 書作に寄す 

ポイン内乱を練る國際法問題 新台湾總督小林躋造 でジョ化過程。中産階級 電力顯。思想的精 自然科学の國際性と民族性… 映画批評の新課題 i H

今井 邦子

原長郎 信太郎

爺 脸 吉

**離 京城第一自動車學校** 人中込息刺逝皇 - 京城黄金町六丁目(劉豫院前) ハントスル省へ他!追旋ヲ新サヌ本夜へ来レ

円壱價特

行発社論公央中等學

る當に緒一つ二が品景

7" 0

美術 全筆 (以上各二百名死) 名

({睛雨無用婦人持洋傘)(ポータブル蓄音器こ 短電 福指環とクローム側腕時計 寫眞機ミハンドバツグ 氣機關車ごお人形 置 榯 直千名樣 計 7 炉鏡臺

樣名萬壹 賞D

様名千五 賞 C

ルオタと鹼石用德**ンオイラ** 

フイナ切紙とムバル

能力

二枚と其外凾二個を一組として、 歯刷子 wiwissの中、どれでも能書 組として御應募下さい。常二枚と外凾二個を

して、 に素 新に大鑵入を提供 消製ライガン き賣行を示し ゝある、最も清 力に富む…… 仕致しまし 御愛用各位



發 遺

E

舗本意物ンオイラ 商 林 小 社會式株 屋古名●飯大●京東

# 廿二日朝から開始

、時より北海の現境調査を開始、おいて筆を揃へて日本代表内でのよ、厳睢艦長から二十二月年間、おいて筆を揃へて日本代表内でのよ。厳睢艦長から二十二月年間、おいて筆を揃へて日本代表内でのという。

【古北西庙】 的原果是在西市安官 円田中佐は帰側の途次二十二日台

一時間に三る

艦上會議の決定

を手交することに決定したる由、 ・ 十四日中に日本師に最後他回答 | よに罹洲域府

后型 英三<u>鐵鐵</u>

|南目にわたつて支那個音楽は||歌の極に達してある

近日廿二日河盟] 支那河は百婦 |武交渉別始に先だち、三龍総領事

三加總領事語る

選問権の態度を示してゐるので

脂質に番卵化したこの統一原度に三龍船間単は当隣事間の交渉とは

負擔の不均整を是正

財政の強化を圖る

税制改革の趣旨徹底のため

馬塲蔵相談の形式で聲明

**八臓當局の豫定せる** 

年度豫算の總額は

|即も十二年度においては大談當局| 四、雅秘での他の自然理取約七年

より國軍の純收入派は初年度紀二 【東京電話】今回の親制整理案に

基く收入を加算 闘税制度改革に

三十億圓台を出現

開放引上けによる増収約三千|總派四世国程度であってこれに即

約二時間に亘つて本省よりの回酬時年より非常二號與韓に別かれ、 |時間に亘つて本省よりの回測

極力責任可避の住所をはし、更に 問他親生が日本利見内なりとして 四五十八師に特使命令を授する空

□原に 今回の事件は浸売を所に存はれ 突を吹き過去を指する第一回外 (中国の事件は浸売を所に存はれ 突を吹き (中国の事件は対して取るべき)の (中国の事件は対して取るが、 (中国の事件は対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件は対し、 (中国の事件は対し、 (中国の事件は対し、 (中国の事件は対し、 (中国の事件は対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件は対し、 (中国の事件は対し、 (中国の事件は対し、 (中国の事件は対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件は対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件は対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件が対し、 (中国の事件は対し、 (中国の事件が対し、 (中国

**弾大使は外帯質に請測して東た、「- 戯析は同國々軍弾化衆につきニリ、宛ど結論に達したので適切代 【フラッセル廿一月同盟】ベルギー** けた結果、急感直下二十二日二年

リー大使チェルッチ氏は二十一日

一番間に全里以来を治理に抵断を批 を殴けてるたところ、管定処長様一月車光新大使の歴伝を得つて正式 **重光大使の赴任を待ち調印** 調料の運びに至るものと見られる

で六千哩の海上を展示型に組織さ

**施用售局は崇和政の操作訓練を報**見られる、滅水線線の開始と共に 平洋に一大食蔵を形成するものとれるから、ウラジオ電水艦隊は太 去数年間に四倍に増加したと云は

ト政府は既に特徴する五十萬の隆 力原體では能率地級部は大道二、地見快定の上は政府故局に對して右右。

獨が兵役義務者に

るが、政府部表の私制案では約四、 程度增加の筈 は、 関・アイン 政府は甘五歳から四十五 四の 南原對立し戦空が背に戦戦手がを 世帯 内肌を契機をして緊跳緩局は左右「ベルリン廿一日間盟」スペイン 動員手帖を交明

てしまつたのである▲処日刑罰

四またとなっ

野人戦少して今 **年には百四十** 

凡非

たいる然も各

夕刊後の市况

判問の部行部版も非常な減少議

である▲型に目

行 發 閣

め、馬退霧相談の形式をもつ 散革の趣言を能感せしむるた

今回の税

意思り

拱手のほかなし

最も難問題として解決に苦慮

| 「東京形出] 諸軍より長年せられ | 日設置の知さは理想としては認め | 日本回収器となる保証で | 「根象領域と観じのような、形式に関係してこれが形状に否 関を継ばれたらぬものがあり、「秋五政策千重回収器となる保証で | 「根象領域と・一般とは、大行機関係の収率関係に、不平度 | で、大人と「大行機関係の収率関係」に、大力には、対象の切断的関係としては認め | 日本の単位の収率関係に、不平度 | 一次上度 | し度田首相は次の類き意画を有ししく、総つて意思はあつても質励

行政機構改革と首相

本四個でらびに帯たに固路に移音とは、存留館送や源珠、阿鶴山坎 ではいれるべき新聞は「財産版、「「東京電路」 税制整理案中國税に

士士士士士士士 一年度 度度 度度 度度 號大特 銭十五價 # 阿部定獄中日記

識都人情お手柄話

任商工次官(1等) 依腳兒本宮

保健、航空の改革刷新が富面

について殆ど批手の他はないだら

へるため整備は東に緊閉を加へ こう別権組予他の接受は東に帰 四

相より張榜教育数の國軍員指關院」これに伴ふ商工次官の後任は左の 方式成立に織し説明あり、平年文 「曹貴信が氏を起射することに決定の内容を説明し近に徳内相より地・城は二十二日の融議で迎育正文館の内容を説明し近に徳内相より地・城は二十二日の融議で迎育正文館の内容を説明し近に徳内相よりを観相歌な、選集は一般のでは、東北の語・東北の東京に続いませ、

東京電話)廿二日の定例開議は

商工次官異動

即行せしめ川越大使に際達の符で

と述べ、父寺内陸相に豊富事性に贈んは好師し調査に着手するとになつた時し調査に着手するとになつた。

日家父进义

決裂の危機に直面

より外務省に達した報告によると | 果に業を煮やした淫淵平韦臨曹長 | 使片で顔面頭部に重傷を責び直を 【東京電話】村井シドニー総領事一て、一方時間奏渉の芳しからぬ結一ら大使の車に記笑し大使は聞子の 廿三、四日我方に最後的回答 

惟してあるらしい、その他の訳緒、徳忠主総部組ハフセン氏が後畿内の鉄冷蛇抵衞に吹つべきものと思い首相は鶴剛駅を狭行したので配め、はつて今後は外相、寛祖間一郎制蛇勝利を締やたち編果パーリカる、総つて今後は外相、寛祖間一郎制蛇勝利を締めている。

撤退の模様なり たる背約 二日本社來訪▲國友院並城府會議員常選按逻のた。

| 10回三番版が二人四大大同館|| 第10回三番版が二人四大大同館|| 第10回三番版が二人四大大同館|| 第10回三島

「再度部庁がからつて衣事より」 → 三百年後十時五分級でに二十二日傳輸売事をなすべ、ホテルに二十二日傳輸売事をなすべ、ホテル くり高威米別邦 廿二日人城朝鮮東西元より代表を歩し、) ◇県高威米別邦 廿二日人城朝鮮

人躍の傷感

子峰利毛

明治花柳物語 / 新版总表类作品 п. 4

衆 法 律講 用作的 **座** ぐるは色事件集

干日前清の 糜爛死體 歷代警視總監 列

設備の手許に で度られる新聞 で度られる新聞

語者の手指し

僑 V)

0

花

期

不 良 の 殺 し の カン 所秋は 惱まし 特種 大 福 帳嬰兒殺しから割れた公金横領 自稱美男別嬪惚氣陳列大本朝出 鱈目 實話 行 感激のオリンピック (話行脚 鍵 □極浮昇の馬 意 0 

に於いて開催さ に離する製作館 に続ける製作館

## **遠翻映府は愈上二十三月若しくは ロイド氏は、二十一日(ラルド紙)に病院に収容手書を加へたが謹過)** 上に資洲域府の新聞花銭策を貞向一は良好である 旅跡が潜水船を の集結中

**劇部において発達されウラジオま 各省一度行歴技工事質上卵壺芒症」など出版することなっていまだとうなりに達すると云はれる、右は何れも くされ、軍事政商総発行費その他 ビニー供と云ふべき未停存の大配置の數は底に四十度方宝五十隻 本業別は較大配置の)神蔵を原産な 十二年度 医腹部脳筋膜外部に入れ** おいても日本の海軍に對抗して帰一の土屋側程度銀行されると見られ一個内外の増減を得め、従つて製算 ・サーダの最低観度となる器であり、 こととなる、確して公前は由年度 | 銀行額は恐らく関年度に

【東京宣話】脱調整理に樹し龍龍 ほか、未獲表の關稅制度改革に基 政府の税革案を 東京商議等檢討 滞僑の二十九軍部隊の撤退は、 【北平二十二日】関合ならびには

午後三時入城本町ホテルへ 果殻面に現れて

二十六百三十三幡あつたが▲取けで都行される新聞艦に維造は 関係の一九三三年以前に比し始 即ち一九二八年にはベルリンだ ▲ナチス跳版 行の示す所で た▲これはベ 九〇一町表川石小京東 愛豆資本

民党创歌 が 世

傳

街は

萬

此廣

家中の災難は消え、一人娘の醜面す 宋(假名) 時安 (報初) 時安 (報刊) (報刊) (報刊) 

各帝國大學病院指定常備藥 K 电京日本卷篇本明 大阪市田道道黄河 大阪市田道道黄河

米作の

組合の機能 普通銀行と

別合は確に個群の無病機構

一頭に明和人、九年南京に亘り 西祖原に男し年の記念を続した 行つた土師に幣別事に武政二百

合語を離して昨今の領夕は至く初と総り易い思識者の資益は早くも

【出】サー見年前十一時近内

御下賜金 傳達式 殿崩に執行

行ひ一同影散の邦に終った守に對し液態に御下眼金際達式を

チフス豫屷注射

然當も水出 降りも降つたり

ケ月の雨量が一年分

は手元に保管数し近り終う設定に の御窓に納ひ継ぎを連結に下記と 候、常差に於ては誠に流述の至 りに付立日以内に接店より受取 りに付立日以内に接店より受取 に創出部なき場合仕憶利反棄態 それず、きに付可然抑原財相成 をしたが、さに付可然抑原財相成 をしたが、さに付可然抑原財相成

一てこ果容牧し居り候も返送で付貨儀拝見仕り候、大珂宝

固城の稻作

日大要左の如き皮肉

差出して虫の良い酸製在の如き皮肉一點

廿六年來の記錄

き降り観くこと質に四十日に及ぶしかしすみや仲秋、名勧の響節大郎の今年けまさに襲扱い中仲秋、名勧の響節大郎の今年けまさに襲扱

秋空を仰ぐ――大邱スケッチ

うやく世に現れた健節中の健茹である、中でも天の政能はこの頃や いつたやうな世多の楽蔵が 卷

Ø

◇ … 區長全部確立。」は今次夏

→ 182 十七日夜來の霧風帆 ・ 一八月二十七日夜來の霧風帆 ・ 一八月二十七日夜來の霧風帆 ・ 一八月三十七日夜來の霧風帆 ・ 一月日七十一名は食類も新良。 ・ 押っされ回第1てゐるのを同地 ・ 修溪園支部以園地12 ねさん。 ・ 修溪園支部以園で12 などの ・ 修溪園支部以園で12 などの ・ 修溪園支部以園で12 などの ・ 修溪園支部以園で12 などの ・ 「田間し呂内を駆けすり廻つて、 ・ 一月日と日本を駆ける日本化・ ・ 「田間し呂内を駆けずり廻つて、 ・ 「田間し呂内を駆ける日とれ。 ・ 「田間と日本を駆ける日とれ。 ・ 「田間と日本を駆ける日とれ。 ・ 「田間と日本を駆ける日とれ。 ・ 「田間と日本を駆ける日とれ。 ・ 「田間と日本を駆ける日とれ。 ・ 「田間と日本を取りて大いに ・ 「田本でるんの神名が見て大いに ・ 「田間と日本であるる。

**英して水中に罷り込み人能を製助** \*として家を吞む危機一跳、身を

しつゝあるが當時野張き凝流滑 大田コ風水配催災者の戦所に對

**予各追答局の善後借置は着々進** 

て延長の職にある彼の責任以下安を感じ村のリーダーくなるので村の危険と言ひ

同胞相愛の活手本

る災害性証

あるいろり を単行 · 新任挨拶

お準定助質は十

## 魄氣の屈不撓不

## 訣要の福爲彌轉

の部族を出げ忽ち以は山岳の土石間

慶新

し發を告諭事知南慶師土 闖激起奮の者災罹

> 別題一度デステン

に国家の典庭盛飯は一に同

群が興来を置けるのでシピレを引 でゆけば丁二月末までの漁耕一個をはじめ記憶記録にかけて留の大 大側前を見せてあるのでこの親子 **増削から必死の活動に入り鑑烈な|二百五十萬回を下るまいと觀測さらして得機中であつた漁船は二週|で参山、続意のイリコ市場の取引|** 閑古鳥が鳴くほど寂れてゐた**釜**山。に大きな光明となつてゐる 砂上戦を展開してゐる、之がため Fの不識に悩まされてゐた盟盟治 【辛山】天候に思まれず母以來稀 のイリコ帰迦薬は昨今天候の回 飲為思細に入り飯が飲り する取引が行はれぬし振りに誇き「後衛知島は一體循環を駆してある」めることに生活に反してあるもののイソコ市最も提付五萬國を突破」る釜崎しい喧談を添し紫夏総歌は「きものを有郷で一部のみ像歌せし あがる人名を頭つて明かな情景が れ不無と美国に指まされる哲業者 恐れのる、相望は昨年よりも五、 今期の豫想二百五十萬圓

に亘る南鮮陳宗祚群に綴し、閩南【観賞】二十九日夜から十月二日 道では原至電影費及のため豚至既 **天人は三十銭、小供、學生十銭と** 一般市政へ公司すべきもので、欧 過で各地を巡回中、十九日就登で

**根庁依無の原を助けてるたところ「がその相異は下脚で1R入銭と云」で大家に観を勘想を書及せしむべてあたが発息を携寄網は不平は水「翻いて四五十萬尾の大池があった」ことが一般に震露され、無料公園と天候不願のため不郷を聴へられ「毎棚してみた「禁十六郷が一週間「棚ひを部構に入船線を買りつけたと大候不願のため不郷を聴へられ「毎棚してみた」禁十六郷が一週間「棚ひを部構に入船線を買りつけた」「観覧」約15年月に配う長期神量」「の「副間前資達的産期部を落て」な水販権提供に選すべき認識を受** 

云ふ精金を聞ふ一方、脳だしきは 統営に非難

欲知島豐鄉

一週間に水揚げ五十萬尾

三ヶ月振りに活況

來月一日に實現

「「一」所の行政協議機関はいよ 多朱面道不坦、長が行、上、質量される地がに至り組入地 八口一躍儿萬五千

|に撤退する| |(経関信) 人口九萬五千の大都市

西本頭寺の

バザー

のれ、山路學術課長から野田授供

五五砂九周左根(清州) 4.6 (清州) 4.6 (清州) 4.6 (清州) 4.6 (清州) 3.6 (清州 道 勝了並向荒福山氏豊 勝了地向荒福山氏豊 田 交 関邦木原本家田

【毎山] 快崎の秋を上間がザー開催

ボル東京 神 經 衰弱 勢力 滅 退月 經 痛 更年期障碍 

狀を恢復に導き"勢力を相当す。にして、月經を整調し不快の症率例は結晶性卵胞ポルモン製網



## やつミ有掛に のイリコが派 けで六〇三ミリといふ発調の雨量 をみ、たつた一ヶ月の間に平年の 一ヶ年分の雨が終ってもさわけだ 一ヶ年の本中の書を調べるを設 一ヶ年の本中の書を調べるを設 一ヶ年の本中の書を調べるを設 け暮れ焼に八月の畑きは一ヶ月だ の大邱地方の前半はするで雨に明 冬を思はせるくらひである、今年 所に続いの改造及総代長、同副云・老童野球春物大樽筆開催 【光質】水解桿肌では十七月 毗杉 町の館典、十七日は小学校々選手 水原の秋祭

しく大水等の出たのも無理から 名、網七長に撮影に長い間行いた。 別支に学り 別九七・六ミリをいる怪異的数字 李大景に関して歌から八月までの雨量は一,四 田市、寒湿動の雨比を選撃の上秋 から八月までの雨量は一,四 田市、寒湿動の雨比を選撃の上秋 ではしばられている 生気的数字 李大景に関し階級の結果十四日別をぶし明治四十四年の記録「一 海菜十段上時処行。 なに同日は神 「一 でいし明治四十四年の記録」 「一 海菜十段上時処行。 なに同日は神 「一 でいしている」 「一 一 下 一 正日は午前十時でよ気が到方に撮影に及ります。

後二時半御司幸、午後六時からに 所、門外及警診等制に御保憩、午 日十時 三十分神野後御祭田 錦紋

原籍なけ

運搬を衝撃する範山防食管理所で 胎態服御だけでも重量自真にし なんで来た、釜山へ移音される いかねて暗葉上事を急いでるたが 一般工し既に光器線が組織かり 直滑目がいよく時

これて認務、貯金、振香の三高品 める、このため機制の一部も観じ 大行李地は百五十名の大世俗で 金泉消防

靭権獲得目ざ

災禍も不漁もけし飛ば

防組削立二十五属年に相當するの 記念式演習

快晴に恵まれ好記録續出

選

廿五周年の

大和鐚に痛い一矢

【満州】忠北選手職大質を兼おた

、有音順から職等でた新観は野飯振り、有音順から職等でもたが、この日で の大君快順、郷好の迦郷日和に惠子 のが我一斉に繋行されたが、この日で と情郷観に派遣される名誉の代 神宮競技忠北豫

段では首果で訪州の金興伽君が十 砂四といる思北新配数を出すな 院不正文(脚) 年)四── 孫景鍋 道路 6000 軟式野球 使的 4上原駐 杉松 2加獎信 膝司

を性がルギン

會溫

の際は上の間は、地域の開発の出土の場合の るため脂製造 他にある んとする。現場 れてるたのも 野年に見びに 分だと目はれ たとのことで

を任と合て付献 名 多数の有い器が時 としてある。川下 去っ十一日で開 間では増分に

遊職は行はぬ方頭であると

から面皮手殿に面開作文学打さら、「酒幣」都では二十四十年朝九年 在川龍 打在城以位十二年度開作 清州面技手評定

**談曹を催したが、超嘉着に男子徳一で紙縛を捲き起した實住を真ふて一五時中から東張爾代戦師・総長然 左金柱破取は設面、呂有土地破地鎮道を関る意味合む・十九十年後 【『州』過級、呂經縣政を解俄して代業員の意志** 。 一种融了自来探收性缺陷 一种融了自来探收性缺陷 釜山貯金管理所へ

補級選擧

額々とお引つ越

議済・開宴 放水河技と催興放水▲二時から 放水河技と催興放水▲二時から

大邱局修養座談會

上雕慶北知事

披露宴廢止

少く、四側以内の敵なに立するも、上的作を負れたい試験でに民は致たが、衛作のみは魔器よりも被既、の所は二年が主般におよびいよい、一般に荒らし船と殺害に至わしめ、りつゝある商は枯死しほじの脳報・二段に関す 通賊の風水離は恐作物を一る上に終着や范氏子が郷土し起て 稻熱病と害虫發生 **泣面に蜂の大祟り** 

がら 常順の場に出で

第に貢献する記せ一日谷方面に通 設正なに、近近の英目に逢つた物がところによれば、同氏は光平の凸

獨學で課習書 画講習鈴

れによれば被黙認識は五百英四

北防被害領五六、五四〇間、水 一 三四、 近子四、 張作物三、 三二 四、 近名四九四、 一九〇間、 正四、 宣称四九四、 一九〇間、 正四、 宣称四九四、 一九〇間、

五四〇四、水「【工版】今回の風水野で最も激起

咸田省戸の北連群

加鬱ならぬ氣

超

**半を添へるため 用動質の原基を調った。なほこの起王式に一般と光** 総大な歴宝式を発行することにな 型開係有志等数百名を招き収温で

周太平は撫松再襲を揚言

金日成の一隊長白を狙ふ

「江麓」郡内の風水郡については「に選してある、被黙察を内跡すれ」 産一「10円計五〇三六」な録書を築つた連行庫では七十人では、150円

死亡者 追悼會 連谷面で執行

江陵水禍の総決算

被害實に五百萬圓

死亡行方不明は二百五十五名に上る

||「統2年代 || 「東京 || 「東京 || 東京 一回の林楽杉民として乗り込む秋 配井】間島背後地にある大造の - 関係前際下から選択された平、業に従事する暫で既に住宅、動地
四の桃素が既として乗り込む秋 | レ米春の春新期から伐林臨城で殿 | ることになってゐる 安圖縣へ林

撤地郵着と同時に官業伐材に着手 | 両の四ヶ所へ各三十一名死配置す

大龍山、二道河子、草皮鶥、古湖

一演し歌十七日午前七時飛驟入機|着後やがて後詰の入極部で去る十六日午後等時半加井驟着|り、伐桃地區の安岡縣五

とき受りから御下四に相成し春川」 で成道ではさきに

った御内帑金の際選式を二

今こそ自力更生の

燃ゆる意氣を示せ

御内帑金傳達式に當り孫知事諭告

復興に努むる道民を激勵

民代表程院州郡守に際造した、武後派知事は左の派告

耕地、農作物及漁船漁具等のに一千五百條名の多きにより更に家屋に一千五百條名質協者一千二

るや 天皇、皇后南陛下におったの機祇 畏くも天徹に達するに痛へに堪へざる所なり 散上その及ぼす影響少からず

一特に同当に質調を興へた

人を殺して縊死

兇行後十日目に

郷里で死體を發見

▲總代長山田亞技▲河總代長紹田彦、金原原、 金尾原、 小田百六郎、 銀一年、 八百正康、 至康龍、米原蘇三郎、 山本和太郎、 佐伯敦次郎、 浦辻山本和太郎、 佐伯敦次郎、 浦辻山本和太郎、 佐伯敦次郎、 浦辻

鮮血に塗れなが

敢然任務を果す

勇敢な慶源消防手崔元奎君

防空演習中の美談

後の騒響越来に臨し消防艦の活動。り幹部が検査を眺めるのも期かず 【慶源】今回の防空証管中十八日 | の重数にも出せず再び散然と起上| を選行中不幸にも削留上下五本を「も渡貨し解散式に當り四田大助は信元銀岩(三)任別戦に自己の任務」したがこの戦敗な行為を発部「同 5つて顔面胸部は鮮船に染り直に遠行中不幸にも前箇上下五本を 員毙しいものがあつたが消防害 | 最後まで部署について任務を完ふ 

間島防空の

将來に光明 演習終了に當つて

鷹森大佐謝意表明 の擔任業務の完璧に精進され

急を返した 能に企問は市民に次の如く感謝の 大佐は演習を終るに當り参加開設

博育を執行、参別者数千名に達し 砂場で死亡者八十一名に對する記 相談り午後一時より連行面市場で

非常な脳底であつた 元山から再 び慰問品

まる十七月以来の防空河間は設 対により無事終了するを得まし 大統定電前限に煤へません。こ 大統定電前限に煤へません。こ 大統立の発源な細路 対により無事終了するを得まし 大統立の表現な細路

たが延吉院衛院本部指導部長鷹森は十九日午旬七時をもつて終了し 思り質励された北郎即監防至証書 【延吉】 去る十七日から三日間に の機管に於て報管指揮に任じまるものをして濟しく感謝して任るものをして濟しく感謝してないれたことは間島防空の任に

金防護團長

希望と謝辭

る十九日駐在所、愛國婦人會及び一慰問品を十九日送つてきたがこれ 名の死亡者を出したが同面では去。道水飲物質と融合し左の第一回 三名の死者を出した職・統領里面と「は将来適當に時期を待つて配給す」 「江陵」元山四工西議所では江波 江陵に到着 担保措施官の指導に並び具管でした歌曲を総つたの誰の名誉の問題を加諾思権予位が認む、参加した金服務氏は左の通り希望の

本他の所要物代に大概形成司、林 男術目・自動社で著一生他の所要物代に大型を観音工工。 また 一生物の名組代 南神社の岩 一生が 名組代 南神社の岩 一生が 名組代 南神社の岩 一生が という はいません 一番 一生が という はいかい こうじょう はいい こうじょう しゅうしょう はいい こうじょう こうじょう はいい こうじょう はいい こうじょう はいい こうじょう はい こうしょう はい こうじょう にんり はい こうじょう はい こう にん こう にん こうじょう はい こうじょう はい こうじょう にん こうじょう はい こう こう にん こう はい こう にん こう はい こう にん こう はい こう にん こう こう はい こう こう にん こ 商来二〇侯、衣服一、四四六點 でなこ○侯、衣服一、四四六點

道された保殿に清徴から引撃され和の戦士三十一名は拓粉司から配

不相応域と共に今回の勝名証書に【延言】延吉防護職長として不眠

注文津愛婦活躍

人し各権災者に配給した. 人し各権災者に配給した. 開城の水害義捐

【狂ซ】郡内街文建党同婦人館で 【毘娘】郡跡取扱ひ以外の水郡義

の得博大哈、西馬盥子の山林地帶 成第八底歩兵十一驟本部では附近 臨場中との情報に接し直もに機關! 【延言】御程際蚊河駐田の南平混 し折を匪首とする蚊十名の眼隙が

で戦ら五十の状態と連進、交無し一吉市吉弥を同総館商店が交明接史任所の西方三里木林施兼教催館立一勝総に人質として継ばれてあた延行の西方三里木林施兼教催館立一勝総に人質として継ばれてあた延日十後五時年頃基立製 ○名の警察験員は暗験途中十九一の戦闘で、南東側死傷者なく歩兵銃 駐屯する第一中陸条野指導官以一は死體五を選集して敗走した。こ の深控に列艦した二十道路職家と歌き歌き歌き十分にして配版機 〇〇名出動、西馬恩子附近で同歴 統則長李出林上尉を指揮官とし の 版大通るいれき場所 無利能度して本額基 点ばれてゐる。京城日 点ばれてゐる。京城日 点ばれてゐる。京城日 脚や助鞭を悪くするから、画派セッタクリを作る例で、人に臓はれいまったど言う各部の淋出感を育し、人に臓はれい。 脚や助膜を思くするかがリグリグリを作る房で

である

警察隊に死傷

共匪と交戰

ハガキで申込が上 

店商吉城木鈴 皇送グロタカ報御 大門所は株京京東

「元子」では、一年では「一年では「一年では」「一年日本の一日年後十一年では「一年の一年では、一日日本の一日日本は「一年の一日日本は「一年の一日日本は「一年の一日日本の一日日本の一日日本の一日日本の一日 たが部下一名即死,一名軍場を員一御腰(デ)を整領し十八日開発し

里の西店で飲酒中口絵を始め事け「駐在所以が選起した、殺害の敗因

**魯蚊南京虫等の** 

ュード吹出物に取一等の良義と言はれ、酸くな要やが出で失数 されたがでも広義のが思いたけ は数子酸形されますー

を一寸附けますと不能快な筆さを一寸附けますと不能快な筆されてカユイ時にこの類似にされてカユイ時にこの類

やカユさが不思識に止りますの

で配置されてるキャー

美容蘂として!

大谷後や洗剤後等にお用ひにな

く整へますし

+

物を防ぎ、お肌をシンから楽し

犯人自殺のため不明であるが知 ( ) 使 型 型 型

**以第力今回の試練によつて得た「歌去したので雙山粉で犯人概詮中「臃腧館らしいのたよ客へでゐる「雇民一教旨」石で金の頭部を関打即たせしめて「は殺人負数の目分としては極めて好成績を収」程で金の頭部を関打即たせしめて「は殺人負数の事がを得たれば論じられないが「里の勇邸で跋離中日縁を始め事け「駐従所政が經過や行れなば」** 

の擴張

## 料毛養新の社談論

官民關係者數百名を招き

く着工

盛んな起工式學行



Ø)

源州海殿縣『事は庶王真殿の報館』華生晩館し、更に列殿春一同に詔《佐に義釈記録日の行事を終つたと埋立『事を願さんとする第二別』掲書談かあり五蔵を三昭、午後四 てある今回の職化者統田任長の遺百五十米の第二即總船院皇の際歴(谷日守蘭縣及と副院副議市尉の時 等長の忠鳴碑と嘉山寺に安居されて海州】『賈賈四萬風を投じて二一方有京堂吉原名即舎館館に結合、 謝事級中職化した守爾麟の小城上「海州】『賈賈四萬風を投じて二一方有京堂吉原名即舎館館に結合、 謝事級中職化した守爾麟の小城上

けふ元中校庭で 選手百九十名参加

當局ではこの日海州官民行志や各り起じすることに決定したが、道

作を整へ来る廿九日午後二時よ

百九十四名が烈々たる闘店を展開 山中學校歴で開催される第四回蔵 【厳興】二十三日午削九時から元 | 便をわばならぬ、具骸式には色 一般以来これが政策を削機してあり てをり野似局としても間難局接着 自動式に数更を数年に重り関盟

**国・競後に肝臓、破戯の扇弧掌がを明けて以来試合を重ねること十** 哲業単塚大師は去る十三日職の幕 【開城】本位支局主能オール問城 廿七日决勝戦 語交換局建物は れに作ふ交換局新築、職総合の歌 

| 筋髪つたがこれが決勝轍は虚上来 | 本総金もこれとくもに内部機能 郡等により面目を一新する書へをなしタイル床張、花園和受付 帖眞寫の到殺込申

H

抗化

優 表七解印了上 四 美五級 月 本 大六 美面度石余 上 五頁 入園版頁 紙 頁列

Ø)

VC 16

一柄軍は目下互ひに秘策を練つて職

一記りなく當日は大試合

譲者、長円断領事部を訪れ、中津海安東副領部 十八日思

1011十七日午後一時から公設グラ ワンドで駆行することになつだ。

第

等 : 化

寫眞揷入 詳細なる 

郡府) 退官挨拶のため十八月

山間島省行政科長

问品省土木科長 十九日

き、お化粧が不思議なくらるなる様のでもは続か眠いのまとに楽しく他の問題しますから、どんなアプラ脳の問題しますから、どんなアプラ脳の 腺をひきしめ、汗やアブラの分泌を 第一等!

獨特の実容成分の作用で汗賊や脂肪 粧

前年より三十八%の増収

去した、また塩松縣からの無電によれば河縣城級院後同縣質林河向けて財馬三十九頭に商品を溜載進行中の商人を奨ひ入馬とも拉 義順の合體順六十名は十七月午後間縣界附近を解見山から撫殿に 観道鉄祭部階段によれば陽江撫松街道に出役中の背山好、陽軍の 

近にお動して金月成と合體した。

田二八二、〇二二回 移幅人五一三、四一七匹、移幅 日二八二、〇二二回

九四で前月に比し二〇五、四一二 八月中の貿易語源は八九五、四三

【開題】 西川陸諸切の調べによ

質業理域

開城の貿易

開式 (午後二時) ▲岬朗行車▲ 大阪▲島曾告籍▲米近城路▲馆 曾▲复曾

人政革献軍金日政の一職は依然として長日縣界に在つて長日縣政方の上野田の地壁に砂動して限度の縣域製職を扮言しつ、あり東北方八十日の地壁に砂動して限度の縣域製職を扮言しつ、あり東北方面に頻雄する配合間大平の一院戦三官名は十七日夕刻、縣域東

第二次豫想を發表

の作行により前季より三千五百の作行により前季より九公歳収の見込である。次に作付前程は遊娑、秋読菜類次に作付前程は遊娑、秋読菜類の用込である。 一十五町歩である一町歩昭加し総計二十四萬 

監作物の牧民高級制につき管下各 延言」間島省置業科では本年度

はしけ置場

| 鎭南浦スケツチ

故森田伍長

名が遺作を聴り細里新潟縣へ暗遠 午後二時越列戦で古市軍暫以下二各官民列艦の上監職に執行、同日

で名響の脈死を遂げた霧田田長の 飽和點を解消して 館、同如人館、消納哉、各該公部地」を誠じ優素を唸らせるであらら、當月在選軍人分館の主催で國院談「備をさく」意りなく當日は大談へ [亳山鄉] 十八日丽洲事蛟祀念日 惠山の事變 記念行事

の告別式

機はあと四十七億で 側和 抗壓と一で明年一回の含配により最大級の一しては現在の航式交換の方式を整備にある四十七億で 側和 統に強しそれ以後の地談に對

予山線】既報。今回の長日事件

南浦の電話改善案

同時に郵便局も面目を一新

つた、金銀により小柳指導官以 〇〇名は同夜道さに出動道場中 滿軍大活躍

リンパ腺結核

はと効果へ

吹

に 0 良 物 等

(可認物便郵桶三角)

作 劑 Ø 本

、微熱を防ぎ盗汗を防ぐ

病原菌の發育を阻止し且死滅せしむ

、赤血球沈降速度を正常ならしめ疾病の 網狀內皮細胞を刺戟し白血球を増多せ 經過を好轉せしむ しめ賦活作用を旺盛ならしむ

養及食慾を増進せしむ ヴィタミンBBAD等の供給により榮

劑にして、己存の結核治療劑と は全然其趣きを異にす せる世界的獨創の活性酵素注射 を培養し特殊の方法を以て抽出 本剤は酵母菌及数種の非病原菌

本劑は特殊エンテームの作用により エポツクを劃せる近來の一大傑作なりこ賞 及豫防に應用せられたる左記各大家は一齊 **本劑を多數の結核疾患, 肋腹膜炎等の治療** に其奇蹟的著効を確認され結核治療界に一 京城醫專眼 醫學博士前田伊三次耶氏 醫學博士 醫學博士 山本守部氏 佐.

日赤大阪支部皮腐科 日赤大阪支部眼科 日亦大版支部呼吸器科 肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肋腹膜炎、眼結 慈 一般虚弱体質、楽養及食慾增進等に卓効あり 惠病 院 一醫學博士 (醫學博士 **醫學** 上 醫學博士 有山 森川 藤干三郎氏 田本 芳 慧 採 氏 平一 氏氏 實治 氏氏

装

地賣 樂 早

쒜 文献 御 H 次星第

詳

各 地有 店を Ë 名 じ御下い 藥店に 命れ ig 0) あ 乞際 u]

冗 商 品 田 黑 社會式株

# 各大家の驚異的絶讃

(特許出願中)

10014 COME

了炎症性諸疾患了傳染性化膿性

(本邦嚆矢)

御をの効 を懇請す。玉石混淆なく是非製劑には組成に於て全

本劑の数 綳 愛用を懇 の同種製剤 で 献 贈

商

――一すつかり山水あが 一種の無物相に向ってあた正元成同評山蓮田に用て温野

山防護暦は第二歳女科

はく訓練を受けてるた、本町原変 跛行した、光化門十字路の鍵路跡 - あり西大門巻へ保護してる。 に腹を疣、腹腹疣、乳炭蛇が火を 女さながら女 研髪油敷を であつたが鰓蹠に指導部の値で下 ・砂部し、腹蜒 物に出て送見になつた丸波の端で下 ・砂部し、腹蜒 物に出て送見になった丸波の は、乳水腫・砂の電温に消り午飲める選出・次の電温に消り午飲める場と「発験してる。 カの電温に消り午飲める場と「発験してる。

きのム盛大に行はる

何後十一時になっても左の四個は 目の京城は迷び足が際自あつたが 至明的で大甕な人出を見たす。

沼味 一色に強りつぶされた



競馬大穴が二つ 快晴で人氣煽る

1カイドウ(油平)

認された當選府議成地氏の事性に「甘名に對し取謝べを行ひ更に後午」当的に取制べた結果、當選能表の

祝宴 費用

けふの天氣

けふの豫想

クニカツ△ハツギク担新(千八百)六頭◎

L 越後屋

内科小兒科 山田 曜 院

ス矢 本館

## **砂長宅の强盗** 化人未だ捕ら

●產婆鄉生徒募集

《》 大旦 全核巡查了內地大家樂狀定文志圖 東京即曾二丁三五 日本藝術學

今夏は傳染病

**外**にひどかつたのは**赤痢** 

昨年に比べ患者死者を増す

日系軍人募る

特異 2. 値が説明に抜けません 1. 個くて使りよい は同様的に抜けません 1. 個人であります 2. 個別があってあります 2. 個別がある。

**兴**京日案内

齊發店商尾西 京東 舗本子束子の亀

告に限り特に意風にて囚戒す酸堆料金は削納の承担。迅速過 

名何れも隣地を派した。次ぎは超チフスで版画七百七十

干百月十九名、死五は一百

大演習を前に

内地往來の 郵便物增加

昨日の拳鬪戦

津村タンス店が破析を町四丁目(単純原茶町

T.83

麻雀ピンチ人用

、前級級点 トンテ西中 お7四八清電 動社の二級派券編

タンスは津村

出数は百計四萬卅二通で内地から

大流譚明にこれが不觑文郎の「第二十五名を極寧し上野「本富士、 事鑑で八幡を開始する漢である魔文明が難々横行してゐるの」と懸生帰世早前田、法職首大阪生」然の後宇野同版事四部長、龍師師

**発性は勿論、慢性も恢復が早く、下痢、腹所、サンを服用すれば、勝カタルは原因的に治療** ara。 。 同時に再行機の英雄を被判防機して治癒に単 **(殺し、また海索及び腐敗物を吸著して大便中でトモサンは、腸カタルの原因である腸内の有** 

蕁麻疹に

版は光第に附掲する。

看護 劉祖祖



3



















